

条件反射制御法 講義 6

制御刺激ステージ 重要図

制御刺激ステージ

1. 制御刺激の育成

自分用の制御刺激を決める

制御刺激を1回して平安にする

制御刺激を反復する

2. 良かったことの書き出し

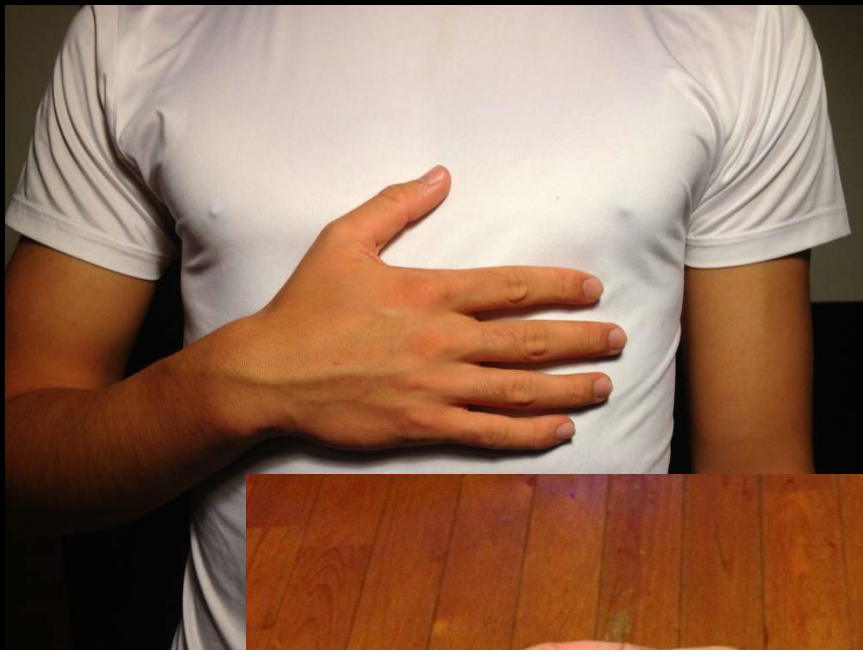
100話を簡単に書き出す

100話を詳細に書き広げる

「私は今」



「〇〇〇〇は」



「やれない、大丈夫」

制御刺激を成長させる

時間間隔は20分以上で

毎日20回程

欲求が有っても、無くても

目を開けて

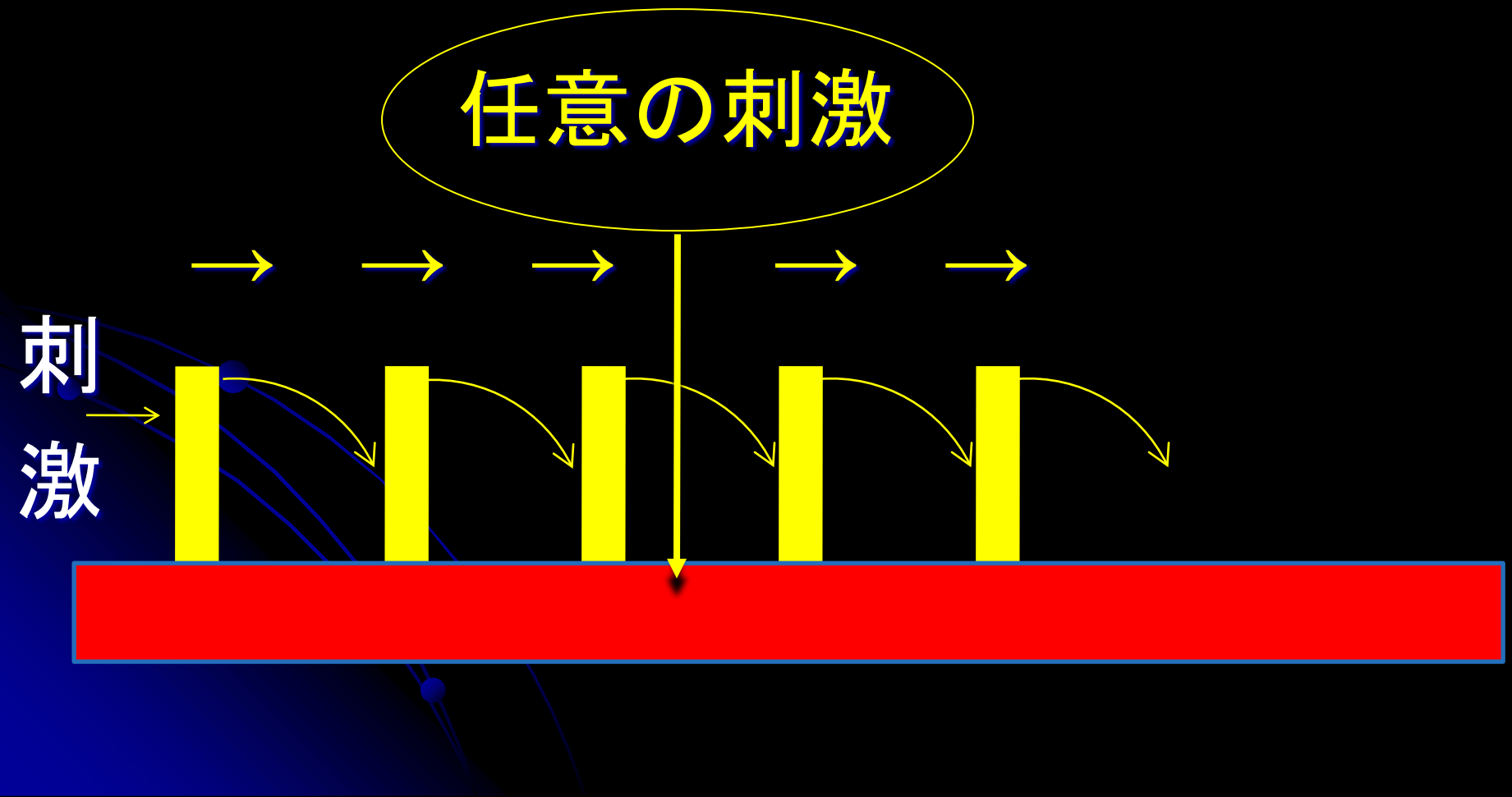
声は出しても、出さなくても

制御刺激をした後は穏やかに

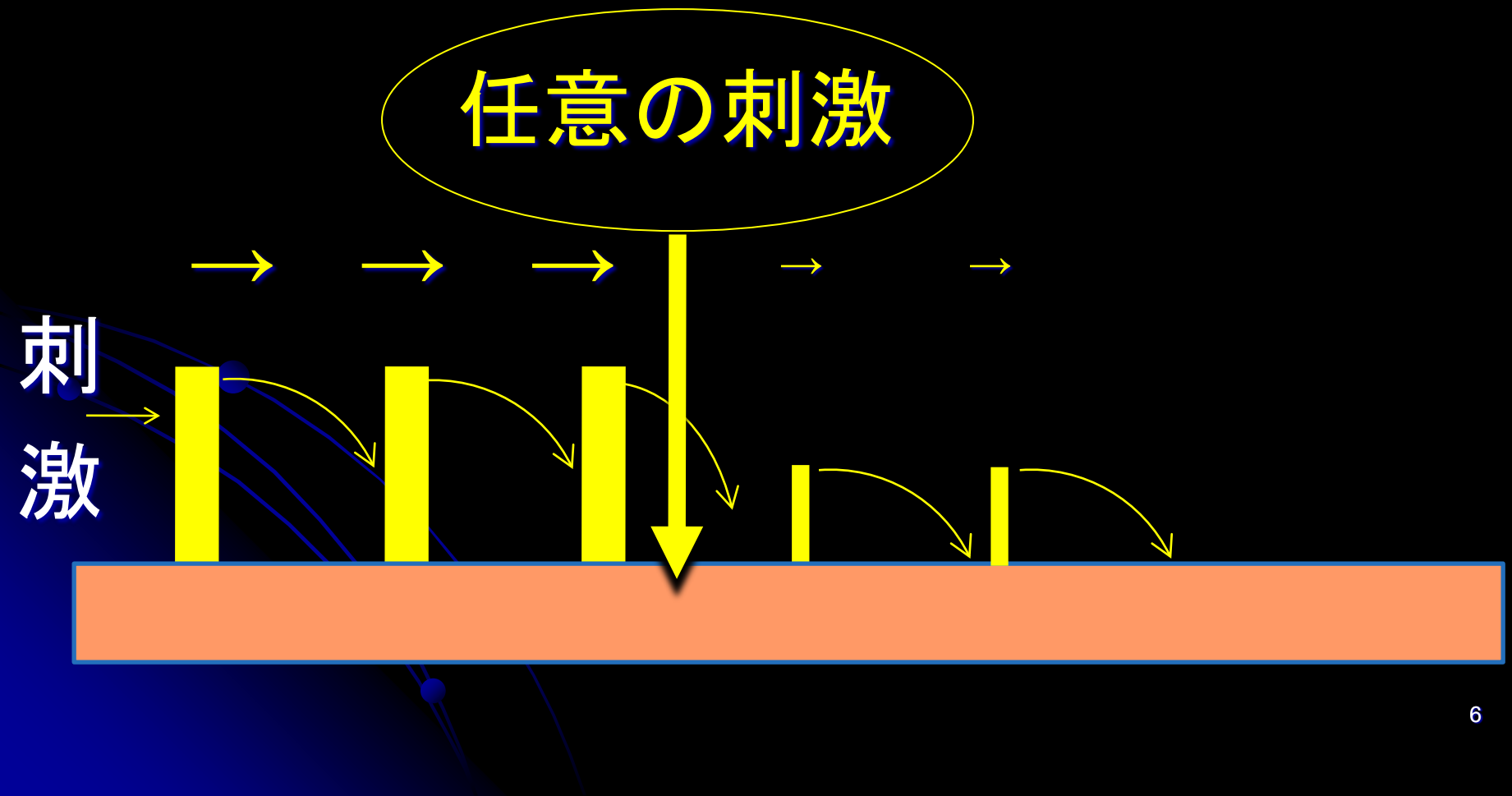
いろいろな場所で、いろいろな物に

おまじないをかける

(任意の刺激+報酬なし) × 反復

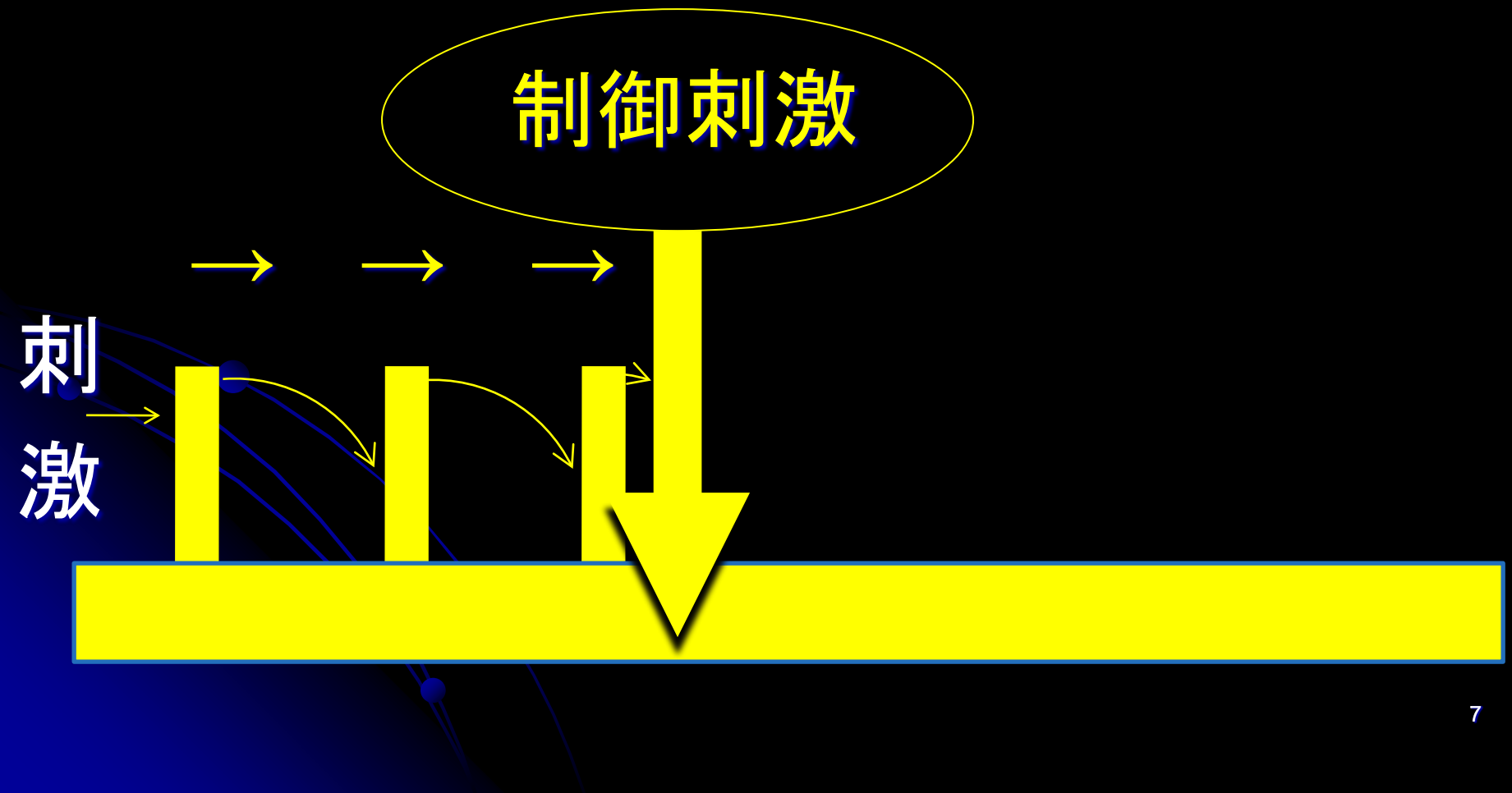


(任意の刺激+報酬なし) × 反復



(任意の刺激+報酬なし) × 反復

第一信号系内で 制御刺激 → 成長



制御刺激反復の効果

1. 方向性を司る反射連鎖を制御
標的の行動に対して

1) 欲求が出ても制御刺激でとまる

2) 欲求が湧かなくなる

環境中の刺激でとまるようになる。

2. 共通の駆動性を司る反射を制御

行動を過激に促進する反射を制御

「制御刺激をしたら、怒り消えた。」

患者の記入と職員による視認

患者は、毎日、回数をつける。

条件反射制御法作業回数記録票

毎日、1回を1角にして、正の字を作る

1日3～4回に分けてつける

累積していく

職員は、毎日、回数票を、見る、見る、見る

応援する

指導する

ときに職員の前で制御刺激をしてもらう

制御刺激ステージの位置づけ

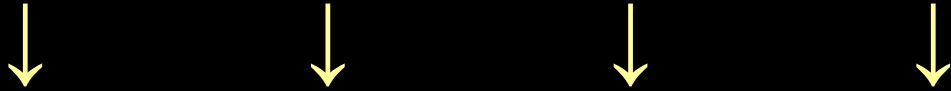
条件反射制御法の始めにあり

安定した精神状態に導く刺激を作り、増やし

安定した精神状態を体験し

後の治療作業および人生で生じる

過剰な神経活動を制止する糧を作る



疑似と想像で反応が生じてても、

辛かったことの書き出しをしても、

安全な環境ですごし、

安定しやすい精神状態となっている

